

川田テクノロジーズ株式会社(3443)
2021年3月期 第2四半期
決算説明資料

2021年3月期 第2四半期 業績

21/3期第2四半期の業績（サマリー）

(百万円)	前第2四半期	当第2四半期	
	実績	実績	前期比
売上高	61,007	56,067	△8.1%
売上原価	55,330	52,604	△4.9%
売上総利益	5,677	3,462	△39.0%
販管費	4,950	4,802	△3.0%
営業利益	726	△1,340	—
経常利益	1,949	534	△72.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,705	833	△51.1%

■減収減益

売上高と営業利益（セグメント別）

(百万円)		前第2四半期	当第2四半期	
セグメント		実績	実績	前期比
売上高	鉄 構	31,977	28,665	△10.4%
	土 木	15,332	18,754	+22.3%
	建 築	9,893	5,289	△46.5%
	その他	5,838	4,915	△15.8%
営業利益	鉄 構	2,170	△1,761	—
	土 木	△800	1,544	—
	建 築	566	477	△15.8%
	その他	8	△346	—

■ 鉄構セグメント

鉄骨事業での繰越・受注増あるも
製作未着工工事があり減収
橋梁事業での複数大型工事における
大きな原価先行により損失計上

■ 土木セグメント

設計変更獲得により増収増益

■ 建築セグメント

繰越高・当期受注共に低く減収
好採算工事あるも減収により減益

■ その他

新型コロナで減収・営業損失

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

受注実績 (セグメント別)

(百万円)		前第2四半期	当第2四半期	前期比
受注実績	鉄 構	12,976	30,850	+137.7%
	土 木	16,534	17,032	+3.0%
	建 築	4,614	3,575	△22.5%
	その他	6,422	5,907	△8.0%
	合 計	40,548	57,366	+41.5%

■ 鉄構セグメント

橋梁事業における
大型の特定更新工事の受注
により増加

■ 土木セグメント

設計変更獲得や
随意契約締結により増加

■ 建築セグメント・その他

新型コロナウイルスの
影響により減少

※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

2021年3月期の見込

(百万円)	21/3期	
	見込	前期比
受注高	110,000	+3.4%
売上高	115,000	△9.5%
売上原価	101,200	△8.2%
売上総利益	13,800	△17.9%
販管費	10,300	+2.5%
営業利益	3,500	△48.2%
経常利益	3,800	△55.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,500	△61.2%

■ 受注高

鉄構セグメント橋梁事業における市場全体の発注量の回復を背景に増加

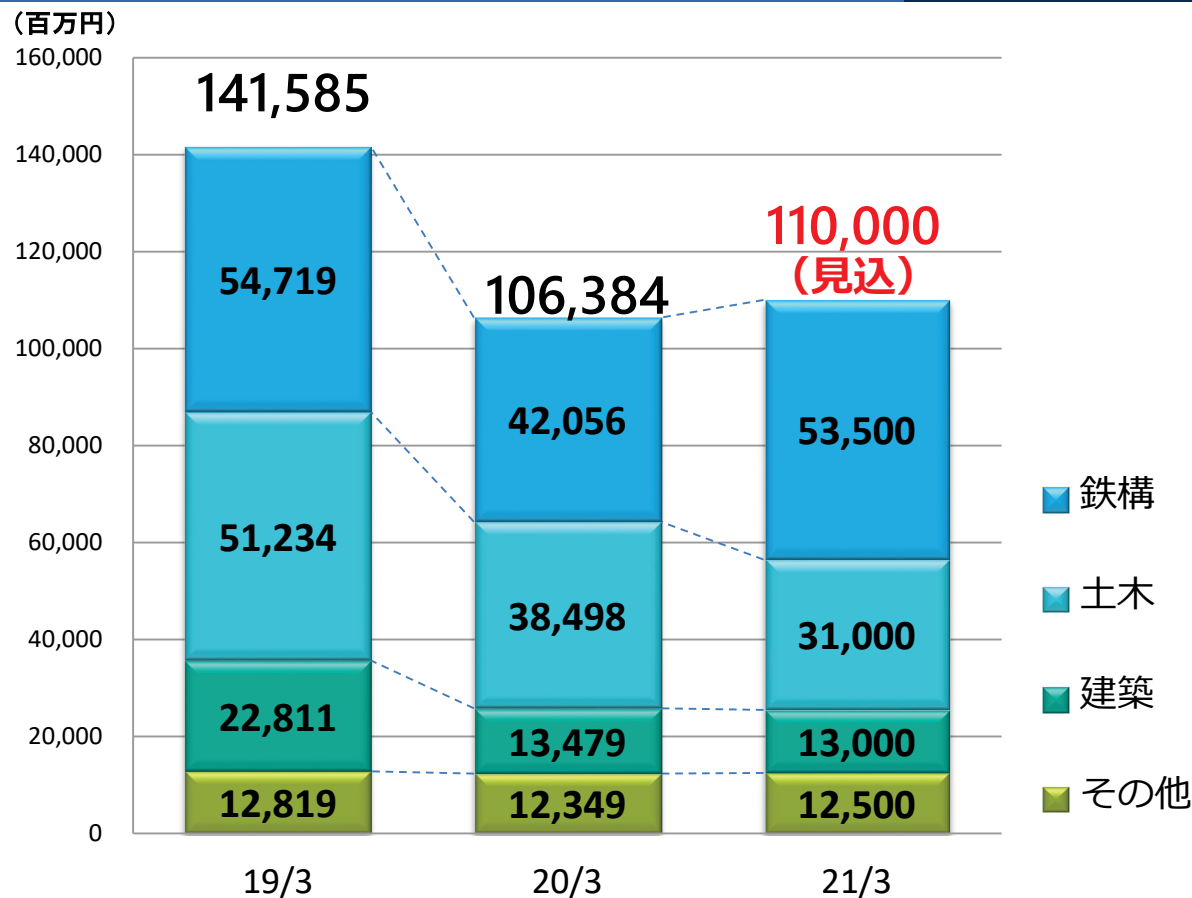
■ 売上高

繰越高が減少したことにより減少

■ 損益面

減収と設計変更の不確実性により減少

受注高の推移（セグメント別）



■鉄構セグメント

橋梁事業における
市場の回復を背景に増加

■土木セグメント

過去最高の繰越高を受け
選別受注を実施し減少

■建築セグメント

新型コロナの影響により
減少

■その他

ソフトウェア関連の
順調な成長により増加

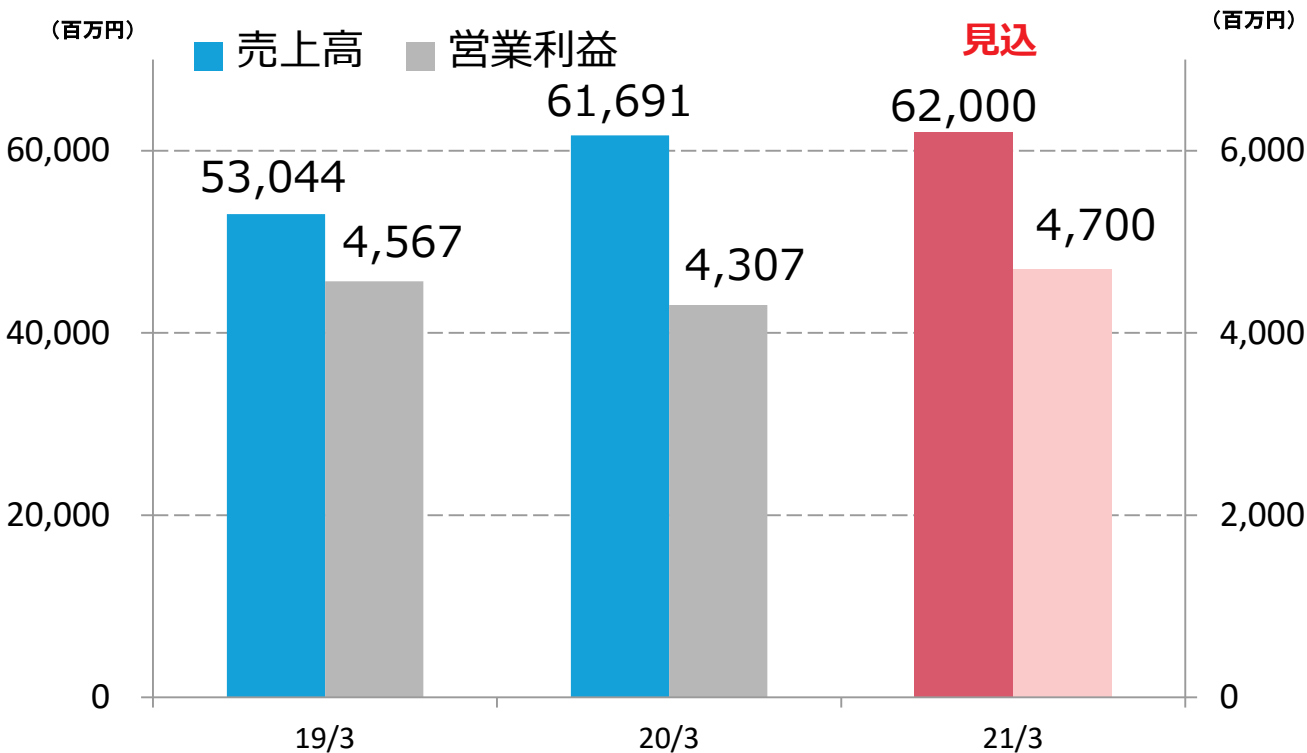
※セグメント間の取引については、相殺消去しておりません。

売上高と営業利益（セグメント別）

セグメント		21/3期初 当初見込	21/3期第2四半期		
			修正見込	増減額	増減率
売上高	鉄 構	57,000	62,000	+5,000	+8.8%
	土 木	33,500	33,500	—	—
	建 築	15,000	11,000	△4,000	△26.7%
	その他	13,000	12,000	△1,000	△7.7%
営業利益	鉄 構	3,300	4,700	+1,400	+42.4%
	土 木	1,400	1,400	—	—
	建 築	700	350	△350	△50.0%
	その他	600	△450	△1,050	—

※セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載してあります。

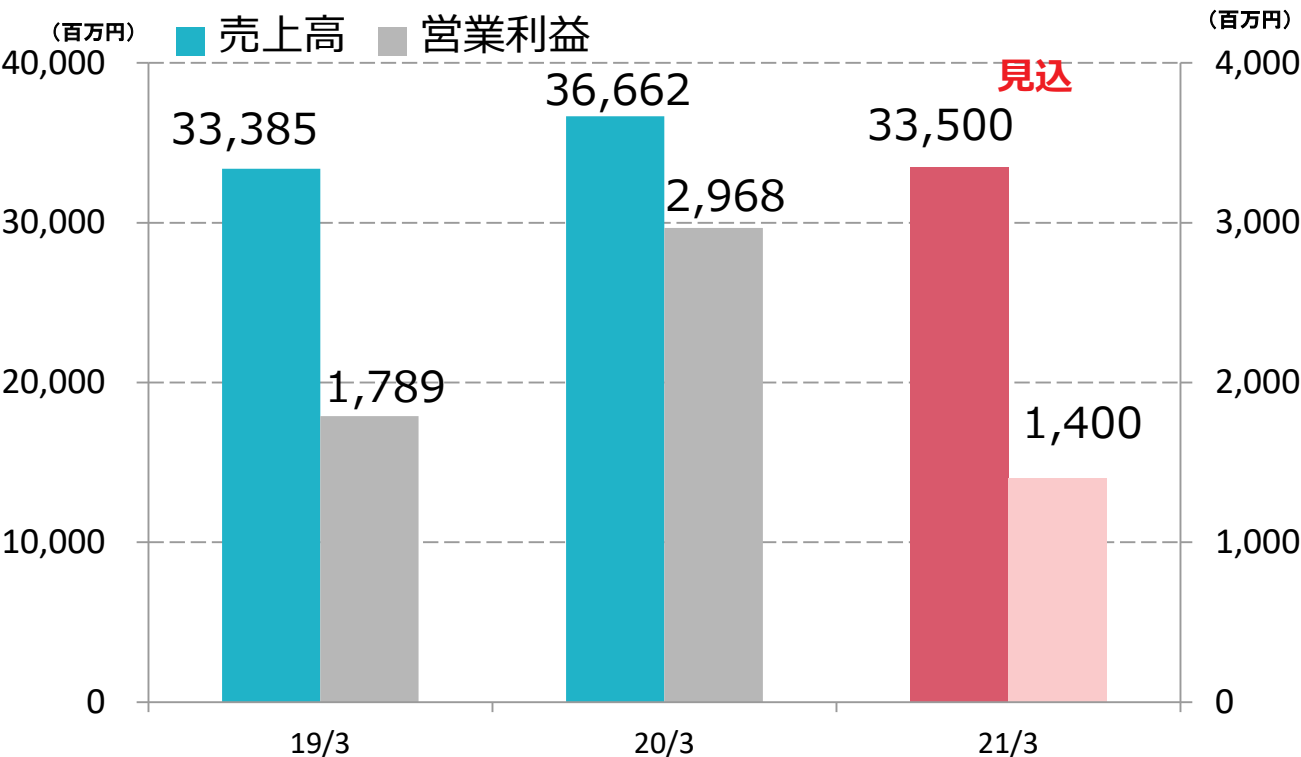
21/3期の見込 売上高 620億円
営業利益 47億円



■ 売上高・営業利益

橋梁事業における
設計変更の獲得
により増加

21/3期の見込 売上高 335億円
営業利益 14億円

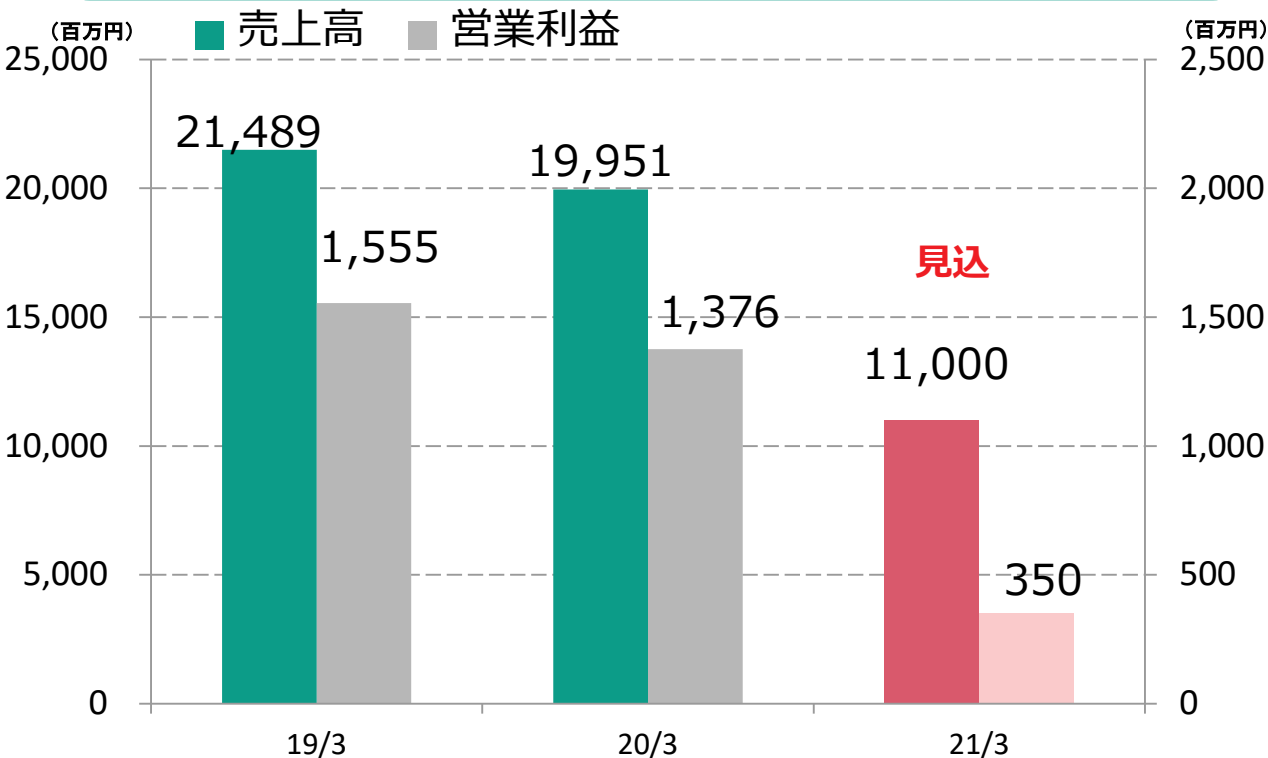


■ 売上高・営業利益

現場乗り込みまでに時間を要する工事が多いことや
下半期に原価先行工事が多いことにより
売上高は減少
営業利益も減少

売上高と営業利益（建築セグメント）

21/3期の見込 売上高 110億円
営業利益 3.5億円



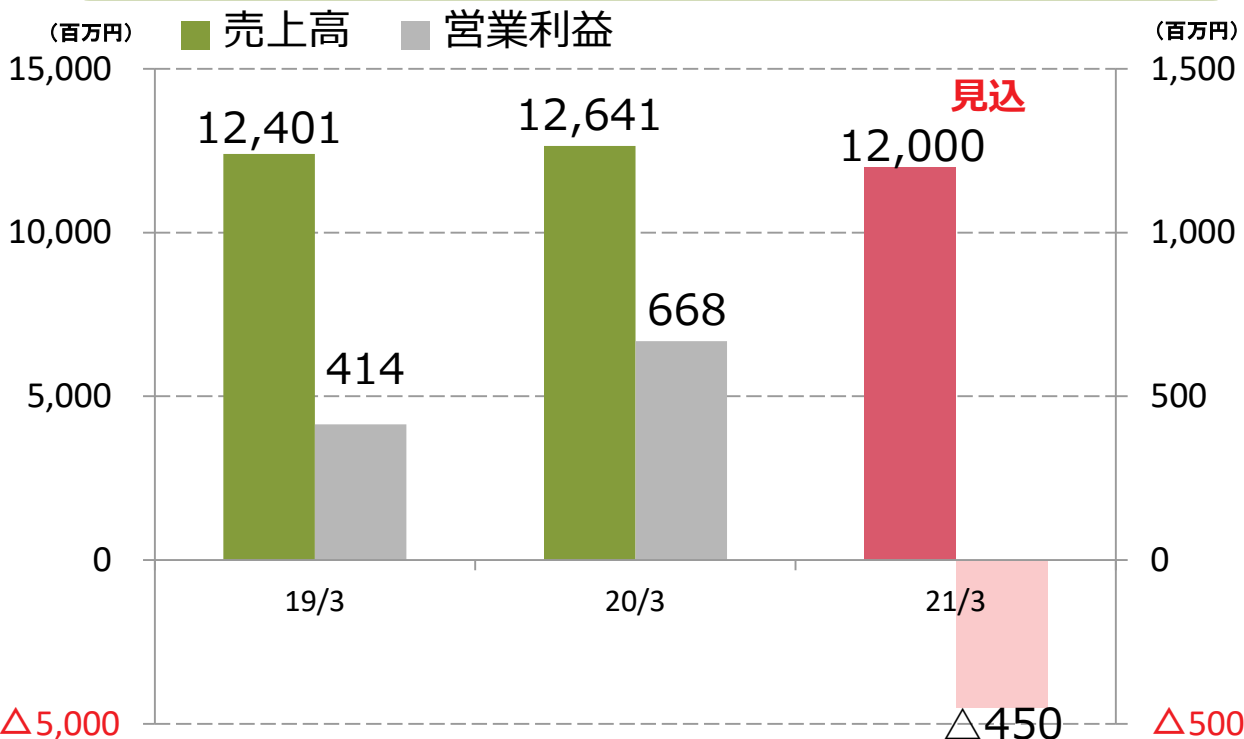
■ 売上高

繰越高の減少や
新型コロナの影響により
減少

■ 営業利益

売上高の減少により
減少

21/3期の見込 売上高 120億円
営業損失 4.5億円



■ 売上高・営業利益

ソフトウェア関連は
順調に成長するも
航空・ロボット関連では
新型コロナの影響を受け
全体として売上高は減少
営業損失を計上



本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、経済情勢、業界の市場動向、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

～お問合せ先～

経営管理部 ir.kti@kawada.jp